

七高SSH通信

～七尾高校理数科だより～

H25・1・8
石川県立七尾高等学校
SSH推進室
平成24年度 第7号

『学ぶとは誠実を刻むこと 教えるとは夢を語ること』

～七尾高校SSH成果発表会～

12月20日（木）に、七尾高校スーパーサイエンスハイスクール成果発表会が行われました。第3期指定を受けて初めての成果発表会であり、石川県教育委員会や科学技術振興機構、金沢大学、ほか県内高校や県外のSSH校などからたくさんの方々に来校されました。16Hと26Hの生徒達はこの日のために準備してきた授業での発表やポスターセッションなどで、普段通りの力を発揮し、集まった先生方から多くの助言や励ましの言葉をいただきました。

研究授業・研究発表



16Hではフランクリンモーターと雷についてのプレゼン発表、26Hでは『21世紀の科学はどうあるべきか』についてグループごとにディスカッションし発表しました。

ポスターセッション

ポスターセッションは3会場にわかれて行いました。金沢大学から院生6人を助言者としてお招きし、専門の立場から様々なアドバイスをいただきました。



講評 科学技術振興機構（JST） 塩澤先生より

今現在、全国でSSH校は178校ある。東京（JST本部）では、今後どのようにやっていこうかと考えていることを、この七尾高校ですでに実践されている。極めて高いレベルのところを実践している。生徒の皆さんは、それを心にとめ、科学を楽しむ心もち、変化に対応する力、経験から学ぶ力、物事を批判的に見て行動する力を身につけていって欲しい。間違いなく皆さんは全国でも高いレベルの授業を受けているといえる。今日の皆さんを見ていて古い言葉を思い出しました。『学ぶとは誠実を刻むこと、教えるとは夢を語ること（ルイ・アラゴン）』。七尾高校の先生方は、授業を通して、みんなにこうあってほしい、こういう姿になって欲しいと夢を語っている。それを誠実に受けとめて学んでいって欲しい。その結果として質の高い大学生、研究者になって、日本の将来を自分が支える、という気持ちで頑張っていって欲しいと思います。

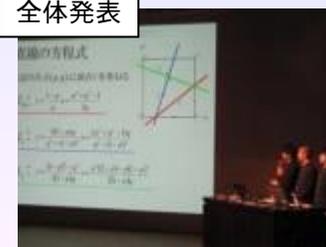
石川県SSH生徒研究発表会

12月12日（水）、石川県文教会館において、平成24年度石川県スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会が行われました。県内のSSH校3校（小松高校、金沢泉丘高校、七尾高校）と招待校2校（金沢桜丘高校、金沢二水高校）の5校が合同で課題研究の発表を行いました。本校からは「新たな不燃紙製作法の研究」と「折り紙の図形」の2グループが代表として出場しました。

今年の発表は、津波の実験や放射性物質が植物にどう影響するかの研究など、時代性を取り入れたテーマを扱ったグループが多く、タイムリーな話題に質疑応答も活発に行われていました。講評では、JST（科学技術振興機構）の植木先生から、発表者は皆礼儀正しく、質問のレベルも高い、答えも的確であり石川県の水準の高さがうかがえる、というおほめの言葉を頂きました。また、他の講師の先生方からは、予備知識のない人にもわかるような発表を、特に数学などでは再現性はあるが抽象的で難しくなりやすいので気をつけてほしい、また、発表中に笑いをとるような工夫もあれば楽しい、といったアドバイスをいただきました。本校生徒の発表においても、他校の生徒からの多角的な手厳しい質問にもたじろがず堂々と受け答えをしていた姿に1年生はとて感銘を受け、来年度の研究についてモチベーションを高めていた様子でした。

全体発表の他に、研究グループ全員参加のポスターセッションも行われ、他校のSSHの生徒達と交流を深めていました。

全体発表



『折り紙の図形』：
26H 南、河内、中川



『新たな不燃紙製作法の研究』：
26H 宇野、田畠、今崎、松井

ポスターセッションの様子



今後の予定

- 1月13日（日）こども交流センター七尾館 スーパーサイエンス教室
- 1月14日（月）数学オリンピック（本校会場）（普通科18人理数科14人受験予定）
- 1月15日（火）フロンティアサイエンスⅠ『現在の太陽系像』
星の観察館 満天星 土川先生
- 2月22日（金）フロンティアサイエンスⅡ『高校生のための医学の魅力講座』